

第6次基本構想（令和5年度～令和12年度）

まちづくりの基本理念

個人の尊重

共生の充実

自治の発展

共生の充実『パラハートちょうふ〜ひろげよう、つなげよう、共に生きるまち〜』

まちの将来像 『ともに生き ともに創る 彩りのまち調布』

まちの将来像
キャッチコピー 『ともに彩る CHOFUTURE』 ※調整中

まちの将来像の実現に向けた
3つの柱

市民が主役のまちづくり

市民のための市役所づくり

計画的な行政の推進

8つの基本目標

基本目標1 安全に安心して
住み続けられるために

基本目標2 安心して子どもを産み育てられ、将来を
担う子ども・若者が力を発揮できるために

基本目標3 みんなで支え合い、いつまでも
心穏やかに暮らすために

基本目標4 学びやスポーツを通じ、だれもが
充実した毎日を過ごすために

基本目標5 多様性を認め合い、安心して
自分らしく暮らせるために

基本目標6 調布ならではの魅力にあふれ、
活気に満ちたまちにするために

基本目標7 地域の特徴を活かした快適で
利便性に富むまちをつくるために

基本目標8 豊かな自然と人が共生する、
持続可能なまちをつくるために

次期基本計画（令和5年度～令和8年度）の概要

■基本的な考え方

- 現行基本構想・基本計画におけるまちづくりの基本目標、施策体系等の基本的な枠組を継承
- 市を取り巻く社会潮流や新たな課題への対応を踏まえ2030年代を展望した計画として策定

■計画の前提

- 人口
令和4年3月実施の将来人口推計を基本
- 財政
財政の健全性維持を基本に、税制改正や社会状況の変化等を捉えた市税や各種交付金等の収入見通しの下、子育て施策や教育、高齢・障害者福祉等に関する経費や公共施設やインフラの老朽化対応など、次期基本計画期間中における財政需要を踏まえた財政フレームを作成
- 個別計画との整合
既存または今後策定する個別計画の基本的な方向や主な取組内容などとの整合を図り、各計画が有機的に連動するよう各施策・事業を整理

■計画期間

年度	和暦 (西暦)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)	令和9 (2027)	令和10 (2028)	令和11 (2029)	令和12 (2030)
基本構想		新たな基本構想(8年間)							
基本計画		前期基本計画(4年間)				後期基本計画(4年間)			
市長任期		→				→			

■計画の構成(案)

現行の基本計画の5編（総論、重点プロジェクト、分野別計画、行革プラン、地域別計画）の構成を基本に、3つを施策横断テーマと施策の推進・成果向上の視点を加えた

- 総論
次期基本計画の位置付け、計画の前提となる人口・財政等、市を取り巻く社会潮流などを踏まえた計画策定の視点、施策の体系などを提示
- 重点プロジェクト事業
次期基本構想に掲げたまちの将来像実現に向けて、市長任期との連動性も考慮しつつ、次期計画期間内に特に重点的に取り組む必要がある事務事業を抽出し、横断的に関連付けを図る
- 分野別計画
8つの基本目標に沿った施策体系を基本に、各施策の取組状況に加え、取り巻く環境の変化や新たな課題への対応などを踏まえ、2030年代を展望しつつ分野別の将来像の具現化を図る
- 行革プラン
まちの将来像の実現に向けた3つの基本的な姿勢を柱として基本計画の各施策・事業を着実に推進していくため2つの市政経営の基本的な考え方に基づき、行政改革の具体的な取組を示す
- 地域別計画
東部・北部・南部・西部の各地域の特性を踏まえた、今後のまちづくりの基本方向を提示

次期基本計画の構成(案)

総論

基本計画の位置付け、計画期間、構成、基本計画の特色、施策体系策定にあたっての前提（人口、財政、土地利用）

5つの重点プロジェクト

- ①防災・減災、防犯
- ②子育て家庭、子ども・若者支援、教育
- ③地域福祉、高齢福祉、障害福祉、健康、新型コロナウイルス感染症対策
- ④都市計画、市街地整備、道路整備、交通、産業・観光振興
- ⑤ゼロカーボン実現、循環型社会の形成、崖線・緑地保全、公園整備

3つの施策横断連携テーマ

施策を横断する重要課題について3つの施策横断テーマとして整理

①安全・安心の確保と
市民生活支援

②地域共生社会の充実

③にぎわいと活力、
うるおいのまちづくり

分野別計画

基本構想

基本理念
まちの将来像
基本目標(8)
分野別将来像(18)
まちの将来像の
実現に向けて(3)

基本計画

施策(調整中)
基本的取組(調整中)
基本計画事業(調整中)

4つの施策推進、成果向上の視点

施策の推進・成果向上やその他施策への波及効果を期待する観点から、4つの視点について各施策における先駆的な取組やモデル事業をピックアップし掲載

①デジタル技術の活用

②共創のまちづくり

③調布っ子応援

④フェーズフリー

※共創に関しては、産学官連携会議から意見聴取した内容も掲載予定

計画の推進(行革プラン)

※個別プランや基本的取組等について検討中

共創の
まちづくり
の実践

行政のデジ
タル化推進

効率的な
組織体制
の整備

人材の
確保・育成

計画行政
の推進

公共資産
の最適化
(ファシリティ
マネジメント)

地域別 まちづくり

東部・北部・南部・西部の各地域の特性を踏まえた、今後のまちづくりの基本方向

次期基本計画の骨子（案）について②

次期基本計画のポイント (令和4年8月29日時点)

次期基本計画のイメージ(案)

まちの将来像 『ともに生き ともに創る 彩りのまち調布』

まちの将来像
キャッチコピー

ともに彩る CHOFUTURE (調整中)



「花開く調布のまち」から
共生の理念の下 安心して豊かに暮らせる
「彩りのまち」に変化させていく

共生の充実

パラハートちょうふ
つなげよう、ひろげよう、共に生きるまち

2030年代の未来の調布
を見据えて

5つの重点プロジェクト

3つの施策横断連携テーマ

安全・安心の確保と市民生活支援

地域共生社会の充実

にぎわいと活力、うるおいのまちづくり

2023年の調布から



のびやかに前進し、花開く新時代の調布

デジタル技術の活用
デジタル化総合戦略に基づき
づく取組 など

共創のまちづくり
調布スマートシティ協議
会等の先駆的取組 など

4つの施策推進
成果向上の視点

調布っ子応援
調布の宝である調布っ子
を応援する取組 など

フェーズフリー
日常と災害時を区別しない
各施策での取組 など

まちづくりの潮流と課題

まちづくりの潮流と課題 ※基本構想素案（市民会議提案書）第1章第3節抜粋

人口構造の変化、総人口・年少人口・生産年齢人口が次期基本構想期間内（令和12年）にピークを迎える

これまでのまちづくりの成果を一層の利便性向上、賑わいにつなげ、魅力あふれる豊かなまち調布を実現

ラグビーワールドカップ2019日本大会、東京2020大会のレガシー、共生の充実「パラハートちょうふ」

新型コロナウイルス感染症対策、市民生活支援、地域経済対策

防災・減災のまちづくり、風水害・酷暑対策、地震対策、産学官民連携による共助の取組、フェーズフリー

ゼロカーボンシティ調布の実現、水と緑の保全や緑化推進、循環型社会の形成

市民サービス・行政・地域社会のデジタル化の推進、共創のまちづくり、調布スマートシティ協議会の取組

基本目標ごとの主な課題・取組の方向

※施策評価における中長期的な施策の方向（ACTION）等から抽出

基本目標	課題等（基本目標に紐づく施策は現行基本計画を基本としつつ、施策30・31は基本目標5に位置付け）
基本目標1 安全に安心して 住み続けられるた め	【防災・防犯】施策1・2・3 遠隔市との災害時相互応援協定に基づく災害時実践能力向上 民間事業者との連携による災害時協定を活用した物資等 調達体制の確立 企業・住民等と協働したハード・ソフト両面からの総合的な治水対策の構築 消防団員の安定的な確 保や持続可能な消防団運営の確立 消防装備品の充実 感染症対策を考慮した避難所運営の実効性検証や訓練の実施 フェーズフリーの観点を踏まえた平時利用の施設や物品の災害時転用の実践 特殊詐欺被害防止対策の実践 など
基本目標2 安心して子どもを 産み育てられ、将 来を担う子ども・ 若者が力を発揮で きるために	【子育て支援 学校教育 子ども・若者】施策4・5・6 年少人口の減少を見据えた総合的な子育て支援施策の推進 学童クラブの待機児童解消 子育てサービスの各種申請手 続き等のデジタル化 児童福祉法と母子保健法改正により2024年4月以降こども家庭センター設置が努力義務化予 定 ヤングケアラーについては国や都の動向を注視しつつ関係部署と連携し実態把握に努め支援体制を構築 GIGA スクール構想実現に向けた課題整理と整備推進 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の計画的導入 不登校児 童・生徒への支援（中学校適応指導教室の設置検討） スクールソーシャルワーカーを活用した支援強化 特別支援教 育推進計画（令和5～8年度）策定 学校における働き方改革プラン（令和5～8年度）策定 ここあ事業の利用者 ニーズに沿った拡充 子ども・若者支援地域ネットワークと重層的支援体制整備事業との連携 市内全児童館における 中高校生世代の居場所事業の充実 東部地域における中高校生世代の居場所事業 など
基本目標3 みんなで支え合い、 いつまでも心穏や かに暮らすために	【高齢者福祉 障害者福祉 地域福祉 健康づくり】施策7・8・9・10・11・12 総合福祉センターの機能移転と、医療ステーション、高齢者の健康増進機能等との集約化 社会福祉法に基づく重層的 支援体制整備事業への移行に向けた取組推進 高齢者に対象者を限定しない通いの場の整備を行うことで重層的支援体 制構築事業の展開に向けた環境整備 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について広域連合や関係部署と連携を 図り取組を推進 関係部署や団体と情報を共有しつつケアラー支援に対応 東京2020大会のレガシーとして共生の充 実に向け「パラハートちょうふ」を掲げ障害理解を促進 医療的ケア児の状況に応じた切れ目ない支援体制整備 グ ループホームや通所施設の開設支援 重症心身障害者の通所施設等の整備 調布国領しごと情報広場への運営参画を継 続 ちょうふ若者サポートステーションやしごと情報センター等の関係機関との積極的な連携を継続 オンライン活用 による妊産婦面談や電子母子手帳等アプリによる育児支援などの導入検討 若年女性の子宮頸がん検診など対象の世代 やがんの種別等を明確に創意工夫と改善を重ねつつ、医師会、アフラック、市の三者で総合的ながん対策の推進 など
基本目標4 学びやスポーツを 通じ、だれもが充 実した毎日を過ご すために	【生涯学習 スポーツ・レクリエーション】施策13・14 生涯学習及び社会教育の推進に向けた連携の方向と効果的な施策展開の検討 eスポーツについて国や都の動向を踏まえた障害 の有無に関わらずスポーツに親しむ手法の1つとしての検討 スケートボードやBMX等を行う施設について、民間スポーツ施設 や近隣の施設も含めたアーナンスポーツの環境づくり 市民プールの在り方について、より多くの市民がスポーツを楽しむ環 境づくりを進めるため、限られた施設の有効活用のほか民間スポーツ施設の活用も含めた検討 など
基本目標5 多様性を認め合い、 安心して自分らし く暮らせるために	【共生社会 地域コミュニティ 人権 LGBTQ 多文化共生】施策15・30・31 緊急時における情報発信、連携強化を図るため、スマートデバイスを活用した市域での広域的なネットワークの構築 被災地への中学生の平和派遣事業などを通じて、より多くの市民に戦争や核兵器の悲惨さや平和の尊さについて改めて 考える機会を継続的に創出 様々な人権課題について人権擁護委員と連携した啓発活動 同性パートナーシップ制度の 導入や人権施策と性の多様性への対応における課題整理及び推進組織体制の検討 など
基本目標6 調布ならではの魅 力にあふれ、活気 に満ちたまちにす るために	【産業（創業・地域経済）、観光、芸術・歴史文化】施策16・17・18・19・20 感染症拡大の状況を見極めつつ、市の実情に応じた（仮称）商業振興・活性化プランの策定 駅周辺の街づくりとの連 動や地域特性・強みをいかした企業立地促進、地域産業の活性化 開創1300年を見据え、関連する団体等と連携 し、深大寺と周辺地域の魅力発信 多様な主体と連携し「映画のまち調布」や「水木マンガの生まれた街 調布」の推 進はじめ観光振興施策の展開 令和11年度までを計画期間とした「調布市農業振興計画」に基づく計画的な取組を推 進 調布駅前広場での市内農産物の直売など「マルシェドゥ調布」の継続開催 市の文化芸術の個別計画策定に関す る検討事項の整理 今後の郷土博物館機能の在り方や方向の整理 など
基本目標7 地域の特徴を活か した快適で利便性 に富むまちをつく るために	【市街地整備（駅周辺・住宅・景観）、交通環境、道路整備】施策21・22・23・24・25 次期調布マスの将来都市構造や地域構想の考え方の整理に当たっての地域ごとの特性に留意した検討 調布駅前広場及び 鉄道敷地整備は、にぎわいや交流を創出し調布のまちの魅力を高めていくため、道路法に基づく道路での利活用や運用 ルールについて新しい制度を積極的に活用した課題解決の取組 東部地区の抜本的な踏切対策に向け、連続立体交差事業 を視野に具体的な対策事業の実施に向けた関係機関との調整 調布市住宅マスタープラン改定において国及び東京都の計 画との整合 多様な主体と連携しながら空き家の未然防止、利活用及び特定空き家等対策の推進 街路LED化推進計画 に基づき令和12年度末のLED化率100%に向けた事業の推進 北部地域における公共交通の実証実験は課題解決に向けた 創意工夫の実践 など
基本目標8 豊かな自然と人が 共生する、持続可 能なまちをつくる ために	【緑・農地・水辺・公園・環境保全】施策26・27・28・29 ゼロカーボンシティに向け市民・事業者が環境意識への転換を促進する取組を進め、家庭・事業所からの二酸化炭素排出量 の削減や再生可能エネルギーの普及拡大を推進 市の公共施設の環境配慮設備の導入、使用電力の再生可能エネルギーへの転 換 施設管理・運営における環境配慮の取組等による徹底した省エネルギー・省資源化施策を推進 地域グループによる公園 や道路の緑帯帯を利用した花いっぱい運動事業などの継続 深大寺・佐須地域における農業公園の開設に向けた運用方法の検 討 こみの減量と資源化の推進（資源循環型社会の形成）ふじみ衛生組合リサイクルセンター更新 など